

「劇団道化座おはなし劇場」

子どもたちの感想文

■一ばんおもしろかったのは「あいうえお」でした。ほかのもおもしろかったです。れんしゅうするのはむずかしそうだなとおもいました。(1年生)

■「じのないはがき」がいちばんかんどうしました。おおきな、すごくいいこえだったとおもいます。ひとつのげきだけじゃなくいっぱいたのしいげきばかりでした。(1年生)

■わたしは「なぜなぜのうた」と「あいうえおーい」がおもしろかったです。いつもとちがうげきで、こんなおもしろいものを見れてよかったです。(3年生)



■ぼくがいいなと思ったのは、6ぴきの野ねずみです。さむい冬がやってきて食べ物が無くなって、でも、1ぴきのねずみさんがたいようの光をあつめて本当にあかるくなったのがすごいです。(3年生)

■「字のない葉書」がいちばんいんしょうにのこっています。まだ字も書けない子が一人で田舎にひなんしないとだめっていうことでおどろいたけど、そのあと、さいしょは大きい赤丸だったのが小さい黒丸になって、最後は葉書がこなくなって、どんどん元気がなくなっていくのがわかって、さいごにかぞくみんなでねるところがいんしょうできでした。(4年生)



■私が心に残ったプログラムは、「6匹の野ねずみ」です。なぜなら、ねずみたちががんばっているのに、1匹だけゆっくりしているから、がんばっているねずみは、かわいそうだなあとおもうました。食べ物、ちょっとずつ減っていました。でも、ゆっくりだった1匹のねずみにより、みんなの気持ちが変わっていきました。(5年生)



■今日は、いきいきとした表現のげきを見れて、笑っておなかがいなくなったりして、心がおどりました。またこのようなおもしろい劇をみたいです。(5年生)

■私は今日の公演の中で「鹿おどり」が一番おもしろかったです。理由は鹿のリアクションがものすごく印象に残ったからです。人間だと「これは手ぬぐいだな。」と、すぐに分かるけど、鹿などの「手ぬぐい」という物体が何か分からない動物にとっては、気になるものなんだ、と思いました。もしも、その手ぬぐいがさわってはいけないものだったら、どうしてたのかなと思います。また、鹿がしゃべっていた東北弁も関西弁とはちがう感じがしておもしろかったです。(6年生)



■分かりやすく、みんなで笑える楽しい県民芸術劇場でした。道化座の人たちは、低学年も高学年も楽しめる劇でした。登場人物の一人ひとりの気持ちがすこく伝わってきました。もし、いっぱいの人前で話す時があったら、みんなの心にひびくようにしたいと思いました。(6年生)